

(第2号様式)

沖水第 2277号
令和7年 3月18日

沖縄県教育委員会教育長 殿

沖縄県立沖縄水産高等学校
校長 大山 正吾
(公印省略)

令和6年度県立学校学校評議員の運営状況について(報告)

令和6年12月11日付け教県第1582号により依頼のありましたみだしについて、下記のとおり報告します。

記

1 日時、場所、出席状況等

第1回	日時	7月18日 16:00～16:50	場所	本校小会議室	出席 状況	評議員3名、本校職員7名
第2回	日時	12月24日 16:00～16:50	場所	本校小会議室	出席 状況	評議員3名、本校職員7名
第3回	日時	3月17日 16:00～16:50	場所	応接室	出席 状況	評議員2名、本校職員7名

2 学校評議員に求めた事項

- ・学校経営方針、努力目標についての助言
- ・学校行事への助言
- ・進路指導および生徒指導の在り方への助言
- ・学校評価に対する助言

3 学校評議員の意見

- ・生徒がボランティアで校内外の清掃を行い、地域に貢献している。
- ・進路決定率が向上し、学校の取り組みの成果がでている。
- ・スマホ利用について校則見直しを行っているが、生徒の主体性を育みながら引き続き取り組んでほしい。
- ・以前に比べ、生徒の勤怠状況が改善、懲戒指導が減少しており、学校が明るい。
- ・学校評価では、保護者及び生徒で肯定的な評価が増加したのは沖縄水産高校の取り組みの成果である。
- ・働き方改革については、部活動等の見直しも必要だが、保護者の意識改革も必要である。

4 学校運営に反映した事項

- ・学校の活動(3学科4類型6系列及び部活動)のさらに活性化に努める。
- ・生徒とともに校則見直しに取り組む。
- ・進路指導では早期的な取り組みを強化し、生徒の自己実現と進路決定率の向上を図る。
- ・地域の企業等と連携し、その成果を沖水祭などで発表する。

5 課題その他

- ・地域連携や教育DXなどの取り組みがある一方で、働き方改革も今後は求められる。
- ・生徒間のトラブルが数件あった。いじめ等に発展しないよう未然防止、指導強化が必要。
- ・数年前と比べて懲戒指導は減っているが、今後も未然防止に向けて取り組む。
- ・進学希望者が増加していることで、奨学金等の経済面で生徒や保護者への情報提供を強化する。